

鉄砲洲神社詩吟 素読論語解説
(平成 26 年 6 月 27 日)

【七】子曰く、君子にして不仁なる者有らんか。未だ小人にして仁なる者有らざるなり。

孔子が言うには、立派な人物であっても、人徳がない行為をする者が多少は、いるであろう。しかし小人（私利私欲に走る人物）が、人徳を備えているということを聞いたことはない。

立派な人物でも、ちょっとは問題を起こすことがある。しかし、私利私欲の人物が立派な事をするということは聞いたことがないという解説になります。

立派な人物で思い起こしますのは、今日は、たまたま太田道灌「蓑を借るの囀」と佐藤一斎がありましたので、ちょっと意味合いが違うでしょうけれど、そこから取らせて頂きます。

現代に置きかえてみれば、少女が太田道灌に「七重八重 花は咲けども山吹の実のひとつだに なきぞかなしき」と詠んだことが、太田道灌には即座に理解できなかった。

後で分かって恥ずかしい思いをした。素養のない自分に対して恥ずかしさを覚えたという事と、不仁なるものは若干素養が欠けているものはあり得ると置きかえてみれば、今の時代は似たようなことが、かなりあるだろうと思います。

この間パソコンで「真珠湾の真相」というものが、動画で出ていたので見てしまいました。

日本海軍の暗号の電文を半日ぐらい早くアメリカ軍は傍受をして解読していた。真珠湾攻撃の半日ほど前には、アメリカ大統領は状況を知っていた。知って分かってはいるけれども、あえて攻撃をさせたと理解をしていたのですが、その動画では現地の司令官へ電話をかけても本人まで伝わらない。なので電報を打つのですが、電話の中身がアメリカ軍に伝わっていくので、電報を運ぶのにも特急扱いにしないで民間の電報と同じ扱いなので、攻撃が終わり撃沈されてから電報が届いたと動画で見ました。アメリカ向けのものを日本に流しているということでした。そういうものを色々と考えあわせてみて、終戦直後マッカーサーが「なぜ日本の将軍達は、肝が据わっていないのか」と吉田首相に聞いたが即答できず、あとで「古典の素読・教養がないがために、日本の将軍達はきちんとした判断ができなかった」と、吉田茂は学者から教わって答えたという話が残っています。

素養が無いことは、事が一旦あるときに悲しい結末を迎えるものだなと感じました。太田道灌の場合は、恥ずかしく思っただけですが、後世に恥ずかしさを残してしまった。素

養無しという話は、自分に置き換えて考えてみると、生きてゆく上でちょっと苦しいことだと思います。

【八】子曰く、之を愛しては、能く勞せしむること勿からんや。焉に忠にしては、能く誨うること勿からんや。

愛は、キリスト教の博愛であるとか、仏教の慈しみであるとか、儒教の仁であるとか、博愛の感覚の愛と、自分自身のわが子に対する愛と、恋愛の愛に対比して考えると良いでしょう。どういう愛でも愛は、相手を慈しもう・労わろうというものです。

忠を子供に対していうと、しっかりした子供を育てようと真心で思うことです。

学者が説明するのは、君主に対しては真心をもって仕え、尚且つ細井平洲が上杉鷹山を教えたようにきちんと指導をして、良き君主に育て上げるのが必要であろうという風に理解することでよいと思います。

自問自答して「あなたは、誰それさんを愛していますか」という時に、「愛しています」って素直に答えられた時には、慈しみ労わるという感覚がついているけれども、ちょっと口ごもりながら言う時には、若干邪まなるものがついているのではないかと思えばよいでしょう。自問自答すべきでしょう。